

中国のITS動向について

松元 学 ITS統括研究部調査役

1. はじめに

陸地面積は約960万平方キロ、人口は13億人を超え、経済成長率約10%で成長を続ける中華人民共和国。経済成長に欠かせない分野として、ITS推進についても、欧米や日本のITS関係団体と交流を図り、本格導入に向けて、技術情報収集や試験研究が行われている。

2006年12月19日「第一回北京交通情報の応用とサービスに関するフォーラム」が開催され、交通情報配信サービス(RTIC)に関する研究成果の発表と、ITS-JAPANの協力による公道デモが行われた。翌日の12月20日に行われた「第二回ITS中国年次会」では、国家及び主要都市からITS関係者や有識者が集結し、ITSの取り組みや研究に関する報告がなされた。日本からも、ETCやスマートウェイについてプレゼンテーションを行った。

中国のITS動向について、高速道路の整備状況と、2008年オリンピック開催地である北京のITSに対する取り組みを紹介する。

2. 中国の高速道路の整備

中国では、人口20万人以上の都市を高速道路で繋ぎ、効率の良いネットワークの構築を目標としている。省都間を結ぶ800km～1,000kmの省間高速道路

網や大・中都市を結ぶ都市間高速道路網を整備することにより、日帰り圏を拡大し、更なる経済成長の促進を目指している。既に、4万kmの高速道路網が完成して、現在は、年間で4,000kmの供用化が行われ、将来的に14万kmまで拡張する計画がある。これらの高速道路の整備と共に、主要都市が中心となり、ITSサービスの導入に向けた検討が行われている。

3. 北京の交通状況

中国の首都の北京は、2008年オリンピック会場となっている。今年の秋には、第14回ITS世界会議も開催されることもあり、世界のITS関係者から注目されている。北京空港から市街地に向かう高速道路では、目立った渋滞は無いものの、交通量は多く、ETCが本格運用されていない料金所では、順番待ちをす



第二回ITS中国年次会



プレゼンテーション(辻常務)

ることが多いという。

北京市街地の道路は、舗装され、信号機、車道、中央分離帯、自転車用レーン、歩道等も綺麗に整備されているが、いつも渋滞している。通勤時間帯になると、更に交通量は増えて、自転車(以前よりかなり少なくなってきている)が大きな交差点の真ん中を車と一緒に横断したり、歩行者が中央分離帯の柵を乗り越えたりする姿を見かける。北京市内を車



中国の高速道路網(計画含む)



高速道路料金所の渋滞

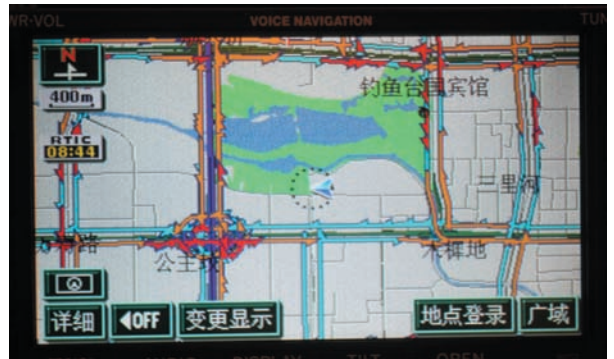


北京市内の交差点

で移動していると、東京都内に比べて交通量は多く、渋滞も酷いように感じられる。これらの交通事情の問題点を解決する為に、北京市では交通制御の改善と、E T Cや交通情報配信サービスの本格運用に向けた準備を進めている。



E T C 料金所 (試行運用中)



交通情報対応のナビ (デモ)

4. 北京におけるE T Cと交通情報配信サービス (R T I C)

現在、E T Cは、試行運用を行っており、北京オリンピック開催に向けて、2007年8月末までに空港周辺や八達嶺高速、京通快速、六環重点料金所等での実運用開始を目指している。既に、公共交通用I Cカード(コンタクトレスカードAタイプ)が、約800万枚も普及しており、E T C車載器で利用するカードについて、検討が進められている。また、E T Cの無線方式については、日本規格の「ARIB STD-T75 狭域通信通信(D S R C)システム標準規格」も参考にし、国内規格化が熱心に進められおり、中国のE T C市場に対して、日本からの参入も期待できると感じられた。

交通情報配信サービス(R T I C)については、「第一回北京交通情報の応用



第14回I T S世界会議北京の会場

とサービスに関するフォーラム」において、I T S -JAPANの協力により実道デモが行われた。交通情報の収集の手段としては、タクシーに搭載された車載器から広域パケット通信でセンターへ送信されるプローブ情報(走行履歴情報)を利用している。この車載器には、車内で犯罪が起きた際に通報できるメーデー機能も備えているため、セキュリティの面での安心感から、タクシードライバーが、パケット通信料の50元(月額)を負担しているという。車載器の搭載はタクシーに義務づけられ、既に、数千台以上

のタクシーの車載器が稼働しているとのこと。交通情報の提供範囲は、オリンピック会場周辺、市内、空港等のエリア、環状6号線内をカバーしている。2007年夏から本格運用開始の予定である。

5. おわりに

2007年10月9日～13日に第14回I T S世界会議の会場となる北京展覽館は、北京市街の北西に位置する。当機構も、国土交通省と合同で展示ブースを設置し、アジアに向けたグローバルE T Cや次世代道路サービスへの取り組み、2007年10月15日から日本の首都高速道路で開催されるスマートウェイ2007等に関する展示を行う予定である。中国の膨大なるI T S市場に向けて、日本の関係団体や企業と協力してI T Sサービスを紹介してゆきたいと考える。

(まつもと・まなぶ)